

重光議員、岩崎議員が聴く 犯罪のない 明るいまちづくり

表紙写真／話をお聞きした皆さん

東広島市防犯連合会は昭和35年に設立され、今年で60周年を迎えました。

さまざまな団体・企業・ボランティアの方々により組織されており、市内全域で犯罪防止活動が展開されています。

この連合会の宮川会長、久保田事務局長に活動内容を伺いました。

東広島市防犯連合会ホームページ
QRコード→
<https://higashihiroshima-bouhan.jp/>



プロフィール



東広島市防犯連合会
会長 宮川 孝央さん



東広島市防犯連合会
事務局長兼専務理事 久保田 博己さん

おかげさまで60周年 東広島市防犯連合会のあゆみ

Q 防犯連合会の組織やこれまでの活動内容について教えてください。

宮川会長 防犯連合会というのは、様々な活動体の連合になっており、大きく分けて市民の活動と事業者の活動があります。市民の活動として、地域安全推

進員、わがまちの安全をまもり隊、青色回転灯防犯パトロール隊、少年補導協助力員連絡協議会

があります。また、事業者の活動としては、遊技業防犯協助力会、タクシー防犯協助力会、金融機関防犯組合があります。これらが一体となり東広島市防犯連合会

を組織し、それぞれの防犯活動を展開しています。

Q 具体的な活動内容を教えてください。

久保田事務局長 主には、子どもたちの見守り活動や特殊詐欺被害撲滅の啓発活動、駐輪場でのツーロックの呼びかけなどを

行っています。事務局ではこうしたボランティア活動の支援を行っています。また、毎年10月の全国地域安全運動期間に合わせ、防犯ボランティア交流会を開催し、日ごろの活動の発表やアトラクションを行い、皆さんの交流を図っています。芸術文化ホールくらがが出来るからは、くらが小ホールを使わせていただいています。

Q 活動継続に関しての問題点、課題等を教えてください。

宮川会長 防犯連合会はトップ



②



③



①



④



⑤

- ① 取材風景
- ② 防犯ボランティア交流会
- ③ 万引き防止ポスター掲示活動
- ④ 暴力追放街頭パレード
- ⑤ 登校時見守り活動

ダウンの組織ではなくて、ボトムアップの組織です。したがって、市民の皆さんを第一義的に考えるわけですが、とはいえ、防犯は警察の仕事であるとか、子どもの安全は見守り隊がやってくれるかと思わないようにしていただきたいですね。すなわち、自分の身は自分で守るんだ！ということを確認いただき、絶対犯罪被害に遭わない！という気持ちを醸成いただくことが必要だと考えています。それから、更に活動の輪を広げるため、ボランティアの方の人数をもっと増やしていきたいわけですが、気楽に、気軽に活動に取り組んでいただくということが必要だろうと考えています。

Q 他の団体等との連携について教えてください。

宮川会長 関係団体としては、少年補導協助手員連絡協議会、暴力監視追放協議会など、多数の団体があり、パートナーシップを図っている組織も多数あります。その中で、特に今後は、住民自治

協議会さんとの連携強化を進めていきたいと考えています。

Q 今後の活動方針を教えてください。

久保田事務局長 令和2年が市防連の60周年ということもあり、今後の10年間の長期ビジョンとしてHCCP2030 (Higashishiroroshima Crime Prevention 2030) を定めました。この中で基本理念を「安全・安心な地域社会の実現に向け、『質量兼備の防犯活動を市民の皆さんと共に創造できる連合会』を旨」とし、様々な具体的な目標や活動方針を掲げています。*SDGsにも触れています。詳しくは市防連ホームページをご覧ください。

Q 市への要望があれば、教えてください。

宮川会長 住民自治協議会との連携の橋渡しをお願いしたいですね。更なる活動の充実が図れると思います。もう一つは、補助金の増額をいただければ活動の幅が広がられます。よろしく願います。

*SDGs

2015年に国連開催のサミットで決められた国際社会共通の持続可能な開発目標。5つのP (①人類 (people) ②地球 (planet) ③繁栄 (prosperity) ④平和 (peace) ⑤パートナーシップ (partnership)) に向けた行動計画として掲げたもの。